

くずまき 議会だより

6 月定例会議
No. 209

令和6年
7月3日発行
岩手県葛巻町議会



一般会計補正予算を可決

価格高騰重点支援給付金等

2p

町内工事場所を確認

～所管事務調査～

5p

障がい者グループホームの設立は 5 議員が一般質問

7p

笑顔のつどい 56



表紙

江刈中学校大運動会
(関連12P)

一般会計補正予算を可決 価格高騰重点支援給付金等

6月定例会議は、6月7日から14日までの8日間の日程で行われました。町長から提出された議案は6年度補正予算など11件で、全議員の賛成で原案どおり『決定』しました。

国では、物価高騰による負担増を踏まえ、個人住民税の定額減税を、実施することとなっています。

その中で、定額減税及び給付対象とならない住民税所得割非課税世帯（住民税非課税世帯及び住民税均等割のみ課税世帯）のうち、6年度新たに住民税所得割非課税となった世帯に対し、1世帯10万円給付するための予算が計上され、可決されました。

また、定額減税を実施した際、減税しきれず現金で給付する定額減税補足給付金についても、予算が計上され、可決されました。

補正予算の主な内容

会計名	補正額	補正後の予算額
一般会計 (第1号)	1億210万円	73億1022万円
主な使いみち		
■ 価格高騰重点支援給付金給付事業費		7465万円
■ 協創推進業経費		320万円
■ 埋立処分場管理経費		310万円

補正予算

● 一般会計（第3号）
1億210万円追加し、総額を73億1022万円としました。

条例改正等

● 町税条例の改正

個人住民税の特別税額控除を実施するための改正、評価替えに伴う土地に係る固定資産税の税負担の調整、森林環境譲与税の譲与基準の見直しなど。

● 農業委員会の委員の同意

門場政一さん（小田・再任）、星野順子さん（星野・再任）、久保淳さん（山岸・再任）、藤森康隆さん（浦子内・再任）、外平静子さん（市部内・

再任）、明石義信さん（田代・新任）、戸花豪紀さん（大沢・新任）、山本一英さん（元木・新任）、折元大樹さん（遠矢場・新任）。
任期は、6年8月20日から3年間で。

● 選挙管理委員の選挙

委員に、八幡忍さん（田子）、下道喜美男さん（小苗代）、桂川龍太郎さん（浦子内）、触沢佳子さん（田野）が当選。同補充員には折元喜代子さん（遠矢場）、土谷和弘さん（元木）、笹川昭文さん（新町）、上川原美恵子さん（星野）が当選しました。
任期は、6年8月22日から4年間で。

輝くふるさと常任委員会（辰柳敬一委員長）は、付託された議案の審査を6月10日に行いました。主な質疑の内容をお知らせします。

町税条例等の一部改正について

柴田委員 税に関する条例改正が2件ほどあり、報告と承認という形で提案されているが、その違いについて伺う。

政策秘書課長 専決処分

は地方自治法第179条により定められている町長の権限で行える専決処分と、第180条議会の権限で町長により専決処分できる事項があり、具体的な内容は議会総合条例第9条に規定されており、第5号にて、会計年度末における地方税法の改正は専決処分により報告で良いと定められている。このことから、総合条例第9条に規定されてか

らは、報告で提案しているが、税率改正に伴う一部改正については承認で提案すべきと指摘されたことから、町税条例の税率改正が伴う場合は、報告ではなく承認という形で提案することとなった。よって、過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法の適用に伴う固定資産税の課税免除に関する条例の一部改正は報告、税率改正が伴う町税条例の一部改正は承認で提案するもの。

町税条例改正による町民への影響は

柴田委員 町税条例の一部改正の内容について伺う。

住民会計課長 今回の改

正は個人住民税、固定資産税、国民健康保険税の3つである。

個人住民税については、定額減税が住民に大きく影響する。納税義務者約2400人。均等割を除く所得割課税者が約2000人でそれに伴う扶養者は970人で、計約2970人が対象となる見込み。減税額は町民税1700万円、県民税は1200万円、合計2900万円となる見込み。

固定資産税は、減免などの対象者が発生すれば該当になるもので大きな影響はない。

国民健康保険税は、後期高齢者支援金課税限度額が2万円増え24万円に改正される。対象世帯は改正前より1世帯減少し6世帯となる。軽減判定所得改正では、5割軽減が改正前より3世帯増え165世帯、2割軽減世

道の駅レストランの今後の運営について

帯は改正前より2世帯増え70世帯が該当となる見込み。

山崎委員 道の駅くずまき高原のレストランが閉店してから時間が経過しているが、再開と今後の方向性について伺う。

副町長 レストランが休業してから、新たな個人や団体に対して、再開してもらえるよう働きかけ

てきた。

現在、株式会社岩手くずまきワインと運営にあたって協議を進めており、メニューの試作など重ねている状況で、6月末には再開できる見込みとなっている。

今後、町は道の駅レストランにおいて、食を通じた観光振興を進めることとし、くずまき高原牧場と連携するなどエリア一体的に交流人口の拡大に取り組んでいきたい。



食の観光振興が期待される道の駅レストラン



河川改良工事が進む馬淵川打田子地区



修繕が完了した七滝山村広場の木橋

施設修繕など 現地で状況を確認

町・県工事など
8箇所を調査

最初に長年懸案の田子地区周辺を洪水から守る、葛葉荘裏の馬淵川打田子地区河川改修工事を視察。県土木センターの説明によると現在進捗状況は7割で、8年度完成とのことですが早期実現を要望しました。

葛巻中学校通学への安全確保を図る町道茶屋場田子線歩道工事（下町）

田子工区）は、順調に進んでいます。8年度完成予定です。

JRハウスくずまき改修工事は昨年度行われ、待合室の間仕切り工事、1階出入口3か所への手すり設置や外壁塗装改修などを視察。

新町の旧遠藤邸に隣接する町有施設解体撤去工事は、きれいに家屋が撤去され、国道281号線から町道町裏線が見通せるように整備されました。



新たに建てられた冬部コミュニティセンター

まちなかの活性化に結び付く活用策を求めました。集会施設整備では、新設の冬部コミュニティセンターや橋場生活改善センター、田代コミュニティセンター長寿命化改修工事を、また、下冬の七滝山村公園歩道等改修工事を視察しました。視察終了後に視察結果を取りまとめ、議会としての見解を町当局に申し入れました。

ハード事業を調査

輝くふるさと常任委員会 所管事務調査

輝くふるさと常任委員会（辰柳敬一委員長）は5月21日、5年度に完了した事業と5年度から実施している工事場所などの調査のため、町内を視察しました。

また、盛岡広域振興局土木部岩手土木センター（千葉信英所長）から、県の事業について説明していただきました。

町の課題解決に向けて

行政視察

輝くふるさと常任委員会

子育て支援施設充実 矢巾町

矢巾町は、県のほぼ中央に位置する紫波郡に属する町です。

初めに、矢巾町役場で、高橋昌造町長から町の取組みについての話を伺いました。

その後、さわやかハウスと、やはばーく（矢巾町活動交流センター）を見学しました。

施設は、子どもから大人までが集える地域交流センター、図書センター、子育て世代活動支援センターが整備され、町の子育て支援の充実を感じる施設でした。



充実した矢巾町の子育て支援施設

企業誘致好調 雫石町

雫石町では、企業誘致について、猿子恵久町長より説明を受けました。

盛岡セイコーの従業員700人のうち200人が雫

石町民であるとのこと、雇用創出されたとのことでした。

また、4年には、盛岡市にあった酒造会社「菊の司」が本社及び工場を雫石町内に移転したとのこと、工場内を見学しました。

新しい工場の中は、年間を通して醸造できるような温度管理など徹底されており、近代的な施設により、品質にこだわった酒づくりが行われていました。

また、「アーチェリー」のまち雫石」を目指して建設された日本最大級の屋内練習施設「いわて雫石アーチェリーセンター」を見学しました。施設内から屋外の的に向けて最大37名が同時に撃つことができる練習場で、大会や合宿の誘致に繋がっているとのことでした。



いわて雫石アーチェリーセンター



菊の司酒造株式会社



ふじおか とおる
藤岡 徹 議員

問 障がい者グループホームの設立は

答 施設整備を具体的に進める

障がい者グループホーム施設整備について

議員 町の障がい者福祉計画の中で、障がい者のためのグループホームの必要性が取り上げられているが、実現に向けた町の計画等を伺う。

町長 障がいを抱えている方の中には、一人で日常生活を送ることが困難な方がいる。このような方々が共同生活を通して相互にコミュニケーションを図り、支え合い、社会参加や自立を目指していくためには必要な施設と考えている。

現在、当町には、障がい者のためのグループホームは整備されていないため、町外の施設を利用せざるを得ない状況である。

議員 町外の施設を利用している方は何人いるのか。また、利用している地域はどこか。

健康福祉課長 過去5年間の平均利用者数は25人で、利用施設がある地域は、盛岡市、滝沢市、八幡平市、岩手町、一戸町となっている。

議員 周辺の市町村では、障がい者のためのグループホームが整備されており、地元で暮らすことができる。

当町においても、生まれ育った場所で住み続けられるよう、また、人口流出防止のためにも、障がい者のためのグループホームが必要と考えるが、今後の取り組み等を伺う。

町長 昨年度、障がい者手帳を所持している住民を対象にアンケート調査



就労により自立を目指す
すずらん工房利用者



日中活動の場
すずらん工房

を行った結果、36人の方から、グループホームを整備した場合、将来的に利用したい旨の回答があった。

そのことから、高いニーズが確認できた。

今年度は、障がい者福祉計画に基づき、関係者との勉強会を開催し、施設整備に向けた検討委員会を立ち上げ、早期サービス提供が図られるよう、具体的に進める。

Next page

一般質問

今ここが聞きたい

6月11日、5議員が一般質問を行いました。

一般質問は、町の行政全般にわたり、事務の執行状況や将来の方針などを幅広い視点から報告や説明を求め質問します。

議員の質問できる時間は、1時間以内です。

議事録の内容は、町のホームページと議会事務局で閲覧できます。

7ページ
藤岡 徹 議員

1. 葛巻町障がい福祉計画について

8ページ
山崎 邦廣 議員

1. グランドデザインによる交流の促進について

9ページ
山岸はる美 議員

1. 児童・生徒の地域部活動への支援策について
2. 安全・安心な地域づくりについて
3. 移住定住者のための住宅施設について

10ページ
竹花 結 議員

1. パートナースhip制度について
2. 町の情報発信、PR方法について

11ページ
柴田 勇雄 議員

1. 消防団運営等に当たっての諸課題及びあり方について

議員の判断

〈議決結果〉



議案等番号	件名と主な内容	議決結果	賛否
条例改正等			
承認第1号	町税条例の一部を改正する条例制定の専決処分の承認…国の経済対策による所得税・住民税・固定資産税・国民健康保険税等の減税実施のための条例改正の専決処分を承認	可決	全員賛成
6年度：補正予算			
議案第1号	一般会計（第1号）……1億210万円増額し、73億1022万円に	可決	全員賛成
人事案件			
同意第2号	農業委員の任命の同意…門場政一さん（小田・再任）	同意	全員賛成
同意第3号	農業委員の任命の同意…星野順子さん（星野・再任）	同意	全員賛成
同意第4号	農業委員の任命の同意…久保 淳さん（山岸・再任）	同意	全員賛成
同意第5号	農業委員の任命の同意…藤森康隆さん（浦子内・再任）	同意	全員賛成
同意第6号	農業委員の任命の同意…外平静子さん（市部内・再任）	同意	全員賛成
同意第7号	農業委員の任命の同意…明石義信さん（田代・新任）	同意	全員賛成
同意第8号	農業委員の任命の同意…戸花豪紀さん（大沢・新任）	同意	全員賛成
同意第9号	農業委員の任命の同意…山本一英さん（元木・新任）	同意	全員賛成
同意第10号	農業委員の任命の同意…折元大樹さん（遠矢場・新任）	同意	全員賛成

※議長は採決に加わりません。

くずまきテレビ
録画放送の予定

月 日	時 間	内 容
7月5日（金）	9時～	議案説明、一般質問
	17時～	議案審査、審議結果
7月6日（土）	9時～	議案審査、審議結果
	17時～	議案説明、一般質問
7月7日（日）	9時～	議案説明、一般質問
	17時～	議案審査、審議結果



やまぎし み
山岸はる美 議員

問 児童・生徒の部活動の支援策は

答 施設使用料等を支援

児童・生徒への部活動等の支援状況は

議員 児童数・生徒数が減少する中にも、頑張るスポーツ少年団及び屋外競技の部活動に対する町の支援状況を伺う。

町長 町は地域運動部活動推進事業において、3中学校の6種類の運動部活動に対し、地域の指導者への謝金、旅費、スポーツ保険料及び施設使用料の全額を助成している。また、施設使用料については、5年度実績で、屋外競技年間136回約4万5千円、屋内競技は年間314回約5万6千円助成しており、ナイター照明の使用料も助成対象となっている。

なお、スポーツ少年団への支援として登録料の全額助成、育成交付金、使用料の一部免除を行っている。

防犯灯・照明灯設備は十分か

議員 地域の安全のための防犯灯・照明灯の設置数は十分か。また、犯罪防止のための町内における防犯カメラの設置状況は。

町長 町内には、防犯灯が1100基、道路照明灯が35基、まちなかの街路灯が90基設置されている。防犯灯は自治会等からの要望に基づき設置し

ており、設置基数は充足していると認識している。また、防犯カメラはくずまき高原に2台、サテライトオフィスに8台設置されている。ほか道路や河川の状況を確認する防犯カメラは、町内15箇所に設置されている。

移住・定住者向け住宅設備は十分か

議員 町有住宅・若者定住促進住宅の入居状況と、空き家、宅地バンクの登録及び利用状況について伺う。

町長 定住促進住宅が8棟28戸で入居数は18戸、いらっしやい葛巻子育て支援住宅は3棟3戸全てに入居、若者雇用促進住宅は1棟6戸全てに入居、町営住宅は55棟67戸のうち60戸、町有住宅が8棟15戸のうち12戸、酪農ヘルパー住宅が1棟5戸全てに入居、森林雇用促進住宅は1棟3戸のうち2戸入居という状況。

また、空き家バンクの登録件数が13件、宅地バンクの登録件数は1件である。空き家に関する問い合わせは増加傾向にあり今後、様々なニーズに対応していきたい。



部活動の練習に励む中学生（運動公園野球場）



やまざき くにひろ
山崎 邦廣 議員

問 グランドデザインによる交流促進は

答 標識やデザインの統一を図る

見やすい案内表示による情報提供を

議員 交流人口の拡大促進に向け、案内標識の更新等の環境整備が必要と考えるが、町の考えを伺う。

町長 町外からの来町者が新型コロナウイルス感染症の影響などにより減少し厳しい状況が続いた。しかし、5年度は観光客が回復傾向にあり、明るい兆しが見えて来た。こうした状況の中、当町が誇る様々な観光資源を活かし、更なる誘客を図るためにきめ細やかな情報提供が必要と考える。

現在、町内には案内標識が多数ある。公共施設案内、観光案内、史跡等案内のほか交通安全、農地保全など各種団体等の看板もある。

これら案内標識は、設置した事業、時期、事業

主体が異なることもあり、統一的なデザインやコンセプトに沿ったものとはなっており、デザインや材質などの統一は図られていない。

近年、町が整備した公共施設は配色やデザインを統一しており、建物の整備が進んだことで町有の施設であることが認識しやすくなっている。

町内の案内標識のデザインの統一化を図ることによって観光客へのわかりやすさが増すものと考えている。

このようなことから、今後、町が設置する案内標識にデザインの統一化を図っていくと共に、町以外の各種関係団体が設置する案内標識も、町のデザインコンセプトと歩調を合わせた統一的なデザインを採用してもらえよう努めると共に、新たに設置する標識や老朽化した標識の更新に係る

経費等の支援を検討したい。

現在の観光客は、インターネットやSNS等で情報を得て来町する方が大多数で、案内標識の整備と併せてデジタル技術を活用した効果的な情報発信を行っていきたい。



町内各地のデザインが異なる看板



しばた いさお
柴田 勇雄 議員

問 人口減に伴う消防団員確保は

答 消防団員全体の充足率は74%

10年間で50名の減

議員 全国で各種災害が多発している。人口減の中にあつて、町の消防防災の中核を担う消防団員数の現状を伺う。

町長 町の消防団員数は人口減少の影響を受け、この10年間で50名ほど減少している。

消防団員の条例定数は346名に対し、現在実数は257名で充足率は74%の状況。

年齢は、20代が11%、30代が20%、40代が42%、50代が19%、60代以上が8%の構成で、平均年齢は44歳である。県平均年齢と比べ2歳ほど若い年齢構成となっている。



大橋付近での放水訓練（浦子内）

消防団員の確保助成金

議員 消防団員確保対策として町から助成金を交付しているが、その内容と成果は。

町長 町では若年層消防団員の確保充実を図り円滑な消防団活動をすすめるため、平成27年度から29年度までの3年間、各年度とも190万円の助成金を交付し、一定の成果を挙げた。

消防団寄付問題

議員 地域住民負担（寄付金等）に伴う各分団の消防防災活動運営費の実態とあり方を伺う。

町長 消防団や分団の運営費は、収入・支出とも様々であり、その運営費については、それぞれに委任している。今後も消防団の適正な運営に取り組む。



消防寄付金の制度化

議員 地域住民活動の中心的役割や献身的ボランティア活動を一心に担う消防団活動への寄付金を「ふるさと納税」方式のような合法制度化にすべきと思うが、町長の考えと改善に向けた国、関係機関への働きかけは。

町長 消防団活動は、地域やまちづくりに連動しており、地方自治の原点とも言えるべき貴重な存在である。消防団寄付制度改善に向けては、今後取り組みを進めたい。



たけはな ゆい
竹花 結 議員

問 パートナシップ制度導入は

答 住民ニーズにより検討

パートナーシップ制度導入への見解は

議員 全国での導入が始まり、岩手県内でも10市町の自治体が制度導入に踏み出したが、町の見解と動向について伺う。

町長 誰もが互いの人権を尊重し合い、自分らしく暮らしていける地域社会の実現は大変重要と考える。

しかし、町における制度対象者の把握、サービスのニーズ等含め現時点において制度導入に向けた検討は行っていない。

今後、国や他市町村の動向、住民ニーズなども十分に把握した上で検討していく。

※パートナーシップ制度：お互いに人生のパートナーとすることを誓い合った2人について、自治体がその誓約を受理したことを証する制度。

情報発信・PRについて

議員 町の情報発信とPRの方法について伺う。

町長 町が活用している情報発信手段は、広報くずまき、くずまきテレビ、ホームページ、ライブビジョンのほか、観光情報を中心に各種SNSを運用している。

議員 情報発信・PRの重要ツールSNSの更新頻度が良好でない状況にあるが、SNSの活用は十分に行っているのか。



東京都内の町の電車広告

議員 東京都内の電車広告や大手コンビニでの町産牛乳を使った商品の販売は、今後の、町特産品等の販路拡大や消費拡大につなげる葛巻推進課長

コロナ禍によるイベント等の中止が相次ぎ、更新頻度が低下した。現在、いらっしやい葛巻推進課で運営しているX（エックス）に情報が集中している傾向にあるが、今後各種SNSを用いて鮮度の高い情報を発信していく。



町産牛乳を使用したコンビニスイーツ

に繋がると考えるが、町内外へもつと情報発信してはどうか。

議員 くずまきテレビの番組に、子ども達の日常や酪農家の一日に密着するなど、町民を対象とした番組を製作してみてもどうか。

いらっしやい葛巻推進課長 電車広告やコンビニでの町産牛乳を使った商品販売は、葛巻町を各方面に発信してもらいありがたいと感じている。以前、Xで伝えたことがあるが、今後は、各種SNSで情報発信していきたい。

今後、町民参加型の番組や各種団体の紹介などの番組について検討していきたい。

近年、コロナ禍で開催を保留していた放送番組審議会を開催し、その中で、意見をいただき、参考にしながら今後の番組作りに努めたい。

くずまきの笑顔

江刈中学校大運動会



江刈中学校（千葉竜也校長・生徒21人）では、5月16日大運動会が開催されました。

生徒たちは二つのチームに分かれ、競技や応援に精一杯取り組んでいました。

大運動会を終え、生徒たちは互いの奮闘を讃えあいました。



「くずまき議会だより」に対するご意見・感想をお待ちしております

情報公開

議長が議会の対外的活動をするための経費が議長交際費です。各団体の総会、式典の会費が主なものです。

4月 43,000円（源流公園安全祈願祭ほか）

5月 33,000円（地区議長会総会ほか）

6月 26,000円（盛岡北部畜産共進会ほか）

次の定例会議は**9月6日(金)**です。

編集後記

春の作業も良い天候に恵まれ、デントコーン播種や一番草乾草の刈り取りでは、高品質な物を収穫できたと思います。

今年は、例年より梅雨入りが遅れ、6月にはない暑さとなっておりますが、この夏も猛暑が予想されますので、熱中症対策をしながら、体調には気をつけてください。

広報常任委員会

委員 高宮 一明

「くずまき議会だより」は、ユニバーサルカラーとユニバーサルフォントに対応しており、より多くの方に視認しやすく、判読しやすいように配慮して制作しております。一部当たり約81円で作成されています。

印刷：俣白ゆり 〒020-0122 岩手県盛岡市みたけ6-1-50

森林認証した紙を使用しております。



UD FONT